

# 檮だより

2020. 5. 30. Fri.



## 学校が再開されます！

明後日から学校が再開されます。4月15日以来、47日ぶりです。3月にも休校がありましたから、在校生にとってはほぼ3ヶ月休校が続いたこととなります。

その間、生徒は外出を自粛し、自宅で自学自習をしなくてはなりません。年度初めに1週間しか登校できなかったのも、新しい担任や教科の先生とも顔合わせをした程度でしたし、学年によってはクラスの友達もほとんどわからないまま休校に入りました。生徒の不安やストレスはもう限界に達しているのではないかと思います。もちろん、保護者の方々も・・・。

特につらかったのは中学1年生ではないでしょうか。入学式後、楽しみにしていたはずの沼田校舎でのNAP(Nagisa Adventure Program)は中止、友達とも先生とも話が十分できないまま休校。課題配信があっても最初は何をどうすればいいのか、戸惑うことばかりだったと思います。きっとお家の方に沢山手伝っていただいたのでしょうね。保護者の方々のご協力には感謝してもしきれません。

その他の学年も、遠足が中止、体育祭も中止で、さぞかしがっかりしたことと思います。6年生にとっては最後の体育祭、青空の下で思い切りはじけてほしかった。フォークダンスも見なかった。5年生も、高校時代最大の思い出になるであろう、広島なぎさならではのコース別研修旅行が、変更・延期になっています。生徒の気持ちを考えると本当につらくて言葉になりません。

この3ヶ月、学校はいつもガランとしていました。校舎は相変わらずきれいで、グランウインドの人工芝は木々の新緑にも負けにくいぐらいの緑に輝いていましたが、生徒のいない学校はやはりただの建物です。家族がいて家があるように、生徒がいて学校があるのだとしみじみ思いました。ようやく帰ってくる日常を、再び失うことがないようにしたいと思います。

学校が再開しても、まだまだ新型コロナウイルス感染症は予断を許さない状況です。第2波、第3波が来ないよう1人ひとりが意識を高く持って「新しい生活様式」を皆で実践していくことが大切です。1人ひとりが、自分と自分の大切な人を守るためにできることをする。それが、すべての人を守ることになるのです。

先生方も休校期間中、それぞれができることを一生懸命やりました。ICTに慣れていなかった先生も、仲間に助けられて勉強しながら、課題や動画を作って配信を続けました。

そして、今、学校再開に向けて様々な準備をしています。再開後は、毎日生徒が帰った後、教室やトイレ、階段の手すり等、生徒が触れた場所の消毒作業もします。1、2 時間はかかる重労働です。生徒のためにできるかぎりのことをする、そんな先生方が待っている学園に、明後日、ようやく生徒が帰ってくるのです。



## 薔薇物語

5 月体育館の南側のフェンスには毎年薔薇の花が咲きます。今年もきれいに咲きました。でも、生徒に見てもらえないまま、盛りを過ぎてしまいました。残念なので写真で紹介します。



華やかなピンクの薔薇。ロサ・キネンシスというみたいです。(違っていたらすみません。) もし、そうなら花言葉は「初恋」です。全部の薔薇の中で、一番いい香りがしました。



薔薇は花の色ごとに花言葉が違います。黄色の薔薇の花言葉は「愛情の薄らぎ」「嫉妬」。花を贈るときはちょっと気をつけたほうがいいのかも。でも、友情という花言葉もあるそうです。



大きく花びらが広がっている深紅の薔薇。種類は「芳純」かな？ 赤い薔薇の花言葉は「愛」「美」「情熱」。



純白の薔薇の花言葉は、「純潔」「清純」など。「私はあなたにふさわしい」というものもあります。